

③ 黒島地域の様子



【黒島】



【黒島に流れる川】

黒島は、島全体に木がたくさん生えていて黒く見えるので「黒島」と名づけられたとされています。3つの島の中でいちばん大きく、島のまわりが20.1kmあります。島のまん中には622mの高さの^{やぐらたけ}櫓岳のほか、500mより高い山が6つもあります。平らなところが少ないのもこの島のとくちょうです。鹿児島港からフェリーで約5時間かかります。

島の北側には、大里と片泊^{むす}を結ぶ県道221号が通っています。また、玄昉南側には村道が通っています。

黒島は、「ミニ屋久島」とよばれるほど^{ゆた}豊かな水があります。そのため、たくさんの川やたきが見られます。小川まで入れると1000ぐらいの川があると言われています。黒島の川の水はいつも流れているので、人々のくらしに大へん役立っています。

黒島には、ほかのところではあまり見ることのできないめずらしい植物がたくさんあります。また、ヤツガシラやアカアシチョウゲンボウなど、いろいろな野鳥^{かんさつ}を観察することもできます。



【アカアシチョウゲンボウ】

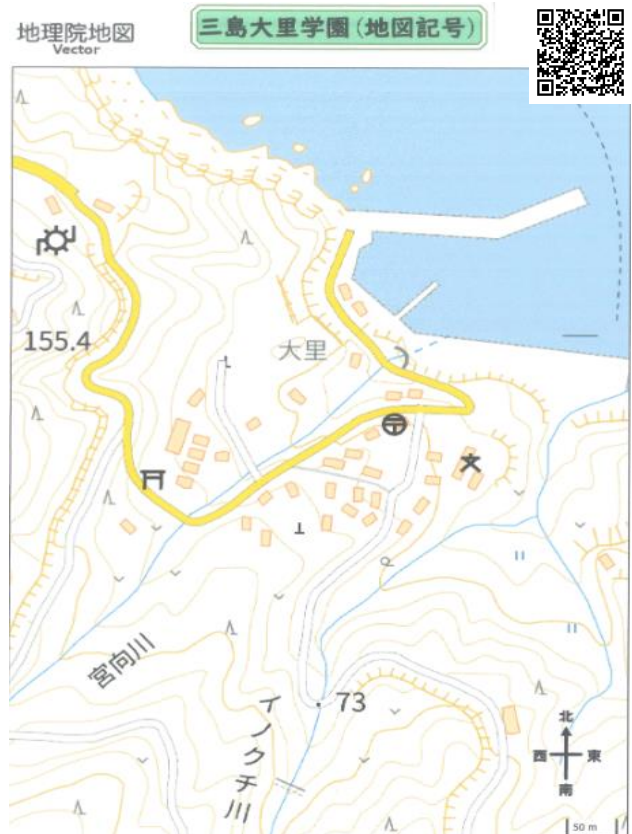
ア 三島大里学園校区

大里地区は、島の北東部にあります。雨上がりの空気のすんだ日には、北北東の方向に開聞岳や薩摩半島を見ることができます。

戦時中、黒島上空が特攻隊の飛行ルートになっていたのも、黒島平和公園など戦争と平和に関するしせつや碑、行事も多い地域です。最近では、昔使っていた皿などが発掘されました。

また、昭和 35 年、有吉佐和子原作の「私は忘れない」の映画の舞台になったところで、さつえいも行われました。

出張所や郵便局といった公共しせつや村営の焼酎蔵もあります。また学校の南西部などさまざまな場所に黒島みかんが植えられていて、黒島みかんを使った特産品が作られています。



はくつちようさ
【発掘調査】



【平和公園】

イ 三島片泊学園校区

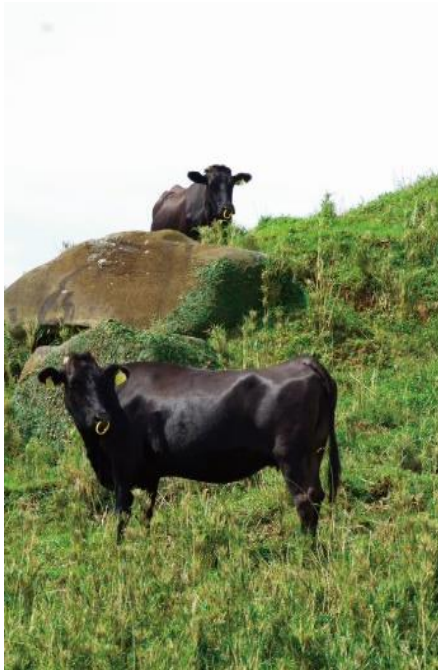
片泊地区は、黒島の西部にあります。

黒島と鹿児島本土をつなぐ^{げんかんぐち}玄関口として片泊港がありますが、昔から何度も台風のひがいを受けてきました。

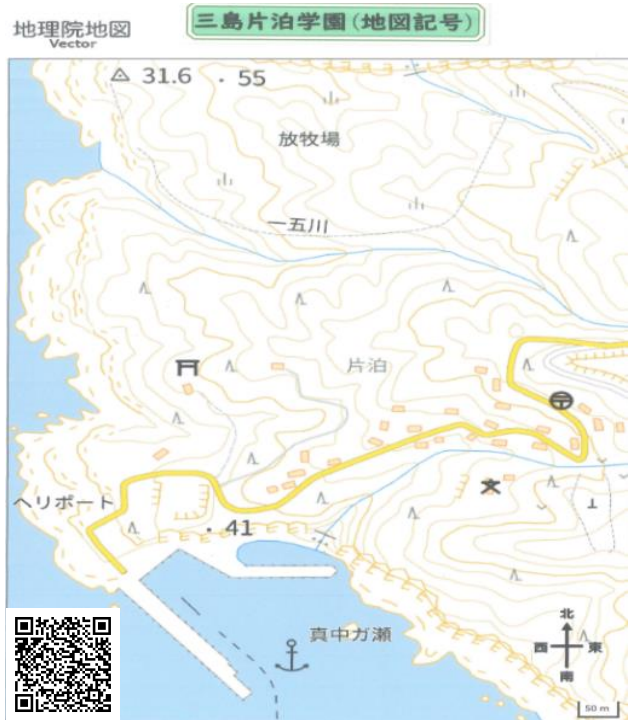
^{しゅっしょうじょ}出張所や^{ゆうびんきょく}郵便局といった^{こうきょう}公共しせつは、学校の北側にあります。

平らなところが少ないので、島の中央では牛を育てています。

片泊の^{ぼんおど}盆踊りにはさまざまな^{しゅるい}種類があり、^{たいこおど}太鼓踊りはその中心の一つです。カネ、ナカダイコ、ジウテ、ヘヤという役があり、踊り歌を歌いながら踊ります。



【牛の放牧】



【昔の片泊港】



【太鼓踊り】